

令和 7 年 7 月 4 日

第1回練馬区食育推進ネットワーク会議（第10期）

練馬区食育推進ネットワーク会議（第1期～第9期）の活動内容

平成 17 年に食育基本法が制定されたことを受け、食育の普及・啓発を目的に、練馬区の食育推進事業に区民および関係団体等の意見を反映させるとともに、相互に食育を推進していくために、平成 19 年 7 月に練馬区食育推進ネットワーク会議が発足した。

1 第1期（平成 19 年度・20 年度）10 回開催

取組内容	・食育推進の標語の選考 ・食育実践ハンドブックによる普及啓発活動（食育実践ハンドブックね・り・まの作成・配布） ・食育推進講演会・食育推進シンポジウムへの協力 （標語入賞者の表彰式・特別講演・区民と食育関係団体（JA 等）の取組紹介等） ・JA 東京あおば農業祭へ出展
------	---

2 第2期（平成 21 年度・22 年度）12 回開催（うち臨時会議 2 回）

取組内容	・食育媒体による普及啓発活動 （食育実践ハンドブックね・り・ま、食育実践チェックシートね・り・まの作成・配布） ・食育推進講演会への協力 平成 21 年度：永山久夫氏による基調講演、練馬の食育実践事例紹介等 平成 22 年度：児島啓介（枝豆王子）氏による講演、練馬の食育実践事例紹介等 ・JA 東京あおば農業祭へ出展
------	--

3 第3期（平成 23 年度・24 年度）10 回開催

取組内容	・食育ハンドブックによる普及啓発活動 （「野菜とれとれ！ね・り・まの食卓」「ちょっと昔のねりまの食卓～これからのねりまの食卓～」作成協力・配布） ・食育推進講演会への協力 平成 23 年度：加藤義松氏（JA からの紹介）による講演 「地場野菜の底地から～野菜のパワーと魅力を知って豊かな食生活を～」 平成 24 年度：渡戸秀行氏（JA からの紹介）による講演 「作って、食べる。食べて、生きる。～野菜づくりを通して子どもたちに伝えたいこと～」 ・JA 東京あおば農業祭へ出展 ・見学会：東京ガス 業務用厨房ショールーム
------	--

4 第4期（平成25年度、26年度）10回（うち部会のみ開催4回）

第4期より、本会議の主旨を「食育の普及啓発から実践へ」と位置づけ、区民委員・関係団体委員からなる「ひとづくり部会」「まちづくり部会」の2部会制による検討方式に変更した。

取組内容	・食育ハンドブックによる普及啓発活動 （「野菜とれとれ！1日5とれとれ！」、別冊「次の世代に伝えたい和食～食育推進講演会記録誌～」の作成協力） ・食育推進講演会への協力 平成25年度：伏木亨氏（京都大学大学院教授）による講演 「次の世代に伝えたい和食～子どもの頃にだしのうまみや伝統料理のおいさを教える理由～」 平成26年度：柳原尚之氏（近茶流嗣家）による講演 「次の世代に伝えたい和食～江戸から今に伝わる和食～」 ・JA 東京あおば農業祭へ出展
部会活動の成果	【ひとづくり部会】食育推進ボランティアの育成および活動支援 食の自立を目的とした食育活動として、食育推進ボランティアによる「児童館での食育事業」の試行を行った。
	【まちづくり部会】 区民が健康に暮らせる食環境として、「健康に配慮したお店のある健康的なまち」の検討を行い、「健康的なまち・お店」についてのイメージの共有化を図った。

5 第5期（平成27年度・28年度）10回（うち部会のみ開催4回）

取組内容	・食育ハンドブックによる普及啓発活動 （「ちゃんとごはん」の作成協力 ※健康づくり総合計画重点事業「ちゃんとごはんプロジェクト」のテキスト） ・食育推進講演会への協力 平成27年度：小泉武夫氏（東京大学名誉教授）による講演 「次の世代に伝えたい和食～発酵食品のある豊かな食生活～」 平成28年度：江原絢子氏（東京家政学院大学名誉教授）による講演 「次の世代に伝えたい和食～地域で広げる、伝える、和食文化～」 ：区職員による「和食を伝える区取組」 ・JA 東京あおば農業祭へ出展
------	--

部会活動の成果	【ひとづくり部会】・食育推進ボランティアの育成および活動支援 平成 27 年度より、食育推進ボランティアによる「ちゃんとごはん」事業を、主に児童館を中心に実施した。
	【まちづくり部会】 住み慣れた地域でいつまでも健康で暮らせるまちづくりを目的とした食環境整備事業の検討を行い、新規事業「ねりまの食育応援店」の事業概要をまとめた。

6 第6期（平成29年度・30年度）10回（うち部会のみ開催4回）

第6期からは、部会活動のテーマを、食育の届きにくい世代（20～30代）に対しての取組「若い世代部会」と、5期で検討し、6期に事業化した「ねりまの食育応援店」の普及啓発に向けた「ねりまの食育応援店部会」に設定し、それぞれに検討を進めた。

取組内容	・食育推進講演会への協力 平成29年度：土井善晴氏（料理研究家）による講演 「次の世代に伝えたい和食～家庭料理を初期化してみると～」 ：区職員・食育応援店店主・食育推進ボランティアによる 「ねりまの食育応援店」、「ちゃんとごはん」プロジェクトの取組紹介 平成30年度：竹下和男氏（子供が作る 弁当の日 提唱者）による講演 「家庭から始まる食育～子供の食の自立を目指して～」 ：食育推進ボランティアより 学童に対する食育の取組「ちゃんとごはん」の紹介 ：区立中学校栄養士より 中学生に対する食育の取組「自分で作る朝ごはんコンクール」 ・JA 東京あおば農業祭へ出展
部会活動の成果	【若い世代部会】 若い世代が集まる所での食育の取組として、盆マルシェ・健康フェスティバル・農業祭等で食育活動を行った。
	【ねりまの食育応援店部会】 「ねりまの食育応援店」の普及啓発に向けた検討を行い、それぞれの店舗の食育の取組等をまとめた情報誌を発行した。

7 第7期（令和元年度・令和2年度）8回（うち部会のみ開催2回、書面開催1回）

取組内容	第6期から引き続き、全体会に加え、部活動において具体的な取組の検討を行った。 ・食育推進講演会への協力 令和元年度：きじま りゅうた氏（料理研究家）による講演 「家庭から始まる食育～改めて知る我が家の味～」 ：食育推進ボランティアによる 「ちゃんとごはん」プロジェクトの取組紹介 令和2年度：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。 ・JA 東京あおば農業祭へ出展（令和元年度のみ） ・食育サミットの開催（令和元年度） 世界都市農業サミット開催にあわせ、「ちゃんとごはん」やねりまの食育応援店店主による食育の講座等のブースを展開した。
部会活動の成果	【若い世代部会】 日本女子大学との連携について検討した。また、若い世代が集まる所での食育の取組として、盆マルシェ・健康フェスティバル・農業祭等（令和元年度のみ）で食育活動を行った。
	【ねりまの食育応援店部会】 「ねりまの食育応援店」の普及啓発に向けた検討を行った。令和2年度末までの登録数は77店舗となっている。

8 第8期（令和3年度・令和4年度）8回（うち書面開催3回）

取組内容	・食育推進講演会への協力 令和3年度：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。 令和4年度：滝村 雅晴氏（パパ料理研究家）による講師および料理実演 動画配信「家庭から始まる食育～共食で伝える家庭の味～」 「親子でつくる野菜料理教室（練馬大根を利用して）」 ・JA 東京あおば農業祭へ出展（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止）
------	---

部会活動の成果	【若い世代部会】 日本女子大学と連携し、有志学生 7 名による、同世代の食生活の傾向とそれに伴う課題を抽出し、具体的な事業実施に向けて検討した。 また、令和 3 年度より Instagram を開設し、若い世代に野菜摂取量の増加と健康的な食事の普及啓発を行った。令和 4 年度末までに 54 品目を投稿した。
	【ねりまの食育応援店部会】 令和 4 年度は、ねりまの食育応援店から季節の野菜レシピを Instagram に投稿し普及に努めた。令和 4 年度末までの登録数は 90 店舗となっている。

9 第 9 期（令和 5 年度・令和 6 年度） 9 回

取組内容と成果	・第 8 期に引き続き大学と連携し、若い世代に向けた食育の取組について検討した。令和 5 年度は食育ポスターおよび紙製クリアファイルを学生独自の視点で作成し、日本女子大学において掲示および配布した。さらに、学生に対し、今後の媒体作成に活かすためのアンケートを実施した。令和 6 年度は啓発媒体の検討を行い、繰り返し使えるエコバッグおよび知識の普及啓発を目的とした若い世代向け「ちゃんとごはん」の冊子を作成した。 ・食育推進講演会への協力 - 令和 5 年度：森下 園子氏（Start Kitchen ポリ COOK 代表）による講演 「災害時の食に備えて」 - 高安ちえ氏（認定栄養ケア・ステーションラシーネ練馬中村橋/おはしごはん主宰）による講演 「JDA-DAT の活動および練馬区との関わり」 - 令和 6 年度：上岡 美保氏（東京農業大学教授）による講演 「子供のころからの環境が育む食育」 ：練馬区食育推進ネットワーク会議委員による練馬区ならではの食育活動の紹介
---------	---